



市議会だより  
**なめりかわ**

No.213

令和6年2月1日発行  
滑川市議会  
☎(076) 475-2120  
E-mail:gikai@city.namerikawa.lg.jp

(タイトル：滑川高校3年 小竹杏奈さんの作品)



**令和5年12月1日に、市議会より政策提案書を水野市長へ提出しました。(詳細は11ページをご覧ください)**

令和5年12月定例会一覽

<p>○議案の審議結果</p> <p>予算(原案可決) 7件          条例(原案可決) 10件          その他(原案可決) 7件          人事(原案同意) 3件          議員提出(原案否決) 1件</p> <p>合計 28件</p>		<p>○委員会</p> <p>4・12・18日 議会運営委員会          13日 総務文教消防委員会          14日 産業厚生建設委員会</p>		<p>18日 委員長報告・質疑・討論採決          追加提案          提案理由説明・採決          議員提出議案          提案理由説明・質疑・討論採決          閉会中の継続審査</p>		<p>12日 代表質問・一般質問          議案の委員会付託          追加提案          提案理由説明          補足説明</p>		<p>11日 代表質問・一般質問          補足説明</p>		<p>4日 会期の決定          提案理由説明</p>		<p>○本会議(主な内容)</p> <p>開会 12月4日          閉会 12月18日 } 会期15日間</p>	
--	--	---	--	---	--	--	--	--	--	-------------------------------------	--	---	--

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は3月です。



なめりかわ **市議会だより**

# ◆令和5年12月定例会

○新しい議会構成が決定 副議長に青山幸生議員

○令和5年度一般会計補正予算(第5号)(6億4,715万円)

ほか人事案件を含む市長提出議案26議案を可決または同意

## 12月定例会

引き続き尾崎照雄議員が議長を務め、新副議長には青山幸生議員が指名推選により当選しました。



尾崎照雄議長



青山幸生副議長

### 新しい議会構成

(◎委員長 ○副委員長)

#### ◆議会運営委員会

- ◎原 明 ○大浦 豊貴
- 吉森 真人 岩城 晶巳
- 古沢 利之 開田 晃江

#### ◆総務文教消防委員会

- ◎大浦 豊貴 ○水橋 真治
- 吉森 真人 高川 正樹
- 青山 幸生 岩城 晶巳
- 古沢 利之

#### ◆産業厚生建設委員会

- ◎竹原 正人 ○開田 晃江
- 安達 真隆 谷崎 潤一
- 尾崎 照雄 原 明
- 中川 勲

#### ◆議会報編集委員会

- ◎高川 正樹 ○吉森 真人
- 谷崎 潤一 青山 幸生
- 古沢 利之 開田 晃江
- 中川 勲

#### ◆広報広聴委員会

- ◎岩城 晶巳 ○安達 真隆
- 水橋 真治 大浦 豊貴
- 竹原 正人 原 明

#### ◇滑川市監査委員

- 中川 勲

#### ◇各組合議会議員

- ・富山地区広域圏事務組合
- 尾崎 照雄 原 明

#### ・滑川中新川地区

- 広域情報事務組合

- 青山 幸生 竹原 正人
- 岩城 晶巳 古沢 利之

#### ・富山県東部消防組合

- 大浦 豊貴 尾崎 照雄
- 開田 晃江

#### ◇都市計画審議会委員

- 大浦 豊貴 竹原 正人

## 本会議

◇12月4日に本会議を開き、まず会期を決めた後に、副議長の選挙や委員の選任等を行い、その後予算及び条例等の市長提出議案21件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長などから議案の補足説明がありました。

◇11日、12日は代表質問及び一般質問が行われ、13名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する質疑を行いました。

質疑終了後に市長提出議案を所管の各委員会へ付託しました。

また、3議案が追加提案され、市長から提案理由の説明があり、一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部長などから議案の補足説明があり、所管の各委員会へ付託しました。

◇最終日の18日には本会議を開き、総務文教消防・産業厚生建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

市長提出議案24件については一括採決の結果、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

その後、市長から人事案件として、滑川市監査委員の委員に中川勲議員、滑川市公平委員会の委員に金川充氏（大崎野）、滑川市固定資産評価審査委員会の委員に小善清範氏（大掛）の選任が追加提案され、それぞれ同意となりました。

その後、議員提出議案第5号「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提案理由説明を水橋議員が行い、岩城議員の反対討論、古沢議員の賛成討論の後、採決の結果、賛成少数で否決となりました。

最後に閉会中の継続審査を議決して、12月定例会を閉会しました。

## ■総務文教消防委員会

付託された9議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆令和5年度滑川市一般会計補正予算（第5号）について

○ふるさと納税推進事業費について、寄附件数の増によるとあるが、当初予算で拡充された、ふるさと納税専用サイトの影響はどのくらいであったのか。サイトごとの件数の内訳はいくらか。

○ふるさと納税専用サイトの拡充による寄附件数の増が考えられるが、サイトごとの件数の内訳については年内で一度取りまとめ、改めて報告させていただきたい。

☆滑川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について

○高度の専門的な知識経験または優れた識見を有するものとあるが、どのような職員を想定しているのか

○保育士、保健師などの専門職の育児休業中の代替職員を想定している。今後、DXや公民連携の分野でも活用できるものと考えている。

○給料月額が他自治体より高いのは人材確保の観点から少しでも有利な条件としたものであるのか。

○給料表は他自治体と比較して設けたものではなく、国の最新のものを根拠とした。

☆滑川市の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○住居手当の支給要件を見直した場合、予算規模はどう試算しているのか。また、見直しについて市民の理解を得られるかという観点についてはどう考えられるか。

○見直しにより支給対象となる職員数は12人であり、影響額は400万円と試算している。見直しの理由は、人材不足が危機的であるなか、優秀な人材を確保するため国及び他自治体と処遇面で差が生じないようにするものであり、優秀な人材の確保に危機感をもって取り組んでいきたいということを説明しながら理解を得ていきたいと考えている。

## ■産業厚生建設委員会

付託された17議案については、慎重審査の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

☆令和5年度滑川市一般会計補正予算（第5号）について

○農業者に対する電気料金高騰の支援の対象の範囲はどのように

しているか。

○県の補正分に対応した予算である。乾燥調製施設に対する助成であり、大規模生産者については19経営体を把握している。中小規模の生産者についてはJAの営農指導員を通じて確認するなど、漏れのないように対応したい。

☆令和5年度滑川市一般会計補正予算（第6号）について

○先ほどの電気料金高騰の対象となっていた19経営体は、こちらの物価高騰や猛暑に対する助成事業も対象となるのか。

○電気料金高騰対策とは別事業であり、先ほどの19経営体についても要件を満たせば助成の対象となる。

☆滑川市犯罪被害者等支援条例の制定について

○犯罪被害者等支援条例の施行後、市民や事業者にどのように周知していくのか。

○市民に対しては、チラシの全戸配布や市のホームページ、広報、SNSでの周知のほか、1月には市民向けの講演会の開催を予定している。事業者に対してどのように周知していくかについては、今後商工会議所等とも協議したい。

（水野市長）県内初の条例制定であり、先進地として、どのような取組をしていくのか示していきたい。

代表・一般質問での質疑応答における当局とのやりとりのうち、どの部分を掲載するかについては、各質問者が選んでいます。

日誌

5年11月

2日 新潟県三条市より行政視察

9日 全国市議会議長会第115回

評議員会(東京都)

10日 総務文教消防委員会協議会

産業厚生建設委員会協議会

定例議員協議会

24日 議会運営委員会

富山県東部消防組合議会

11月臨時会(魚津市)

三市議会議員研修交流会

(魚津市)

27日 北アルプス横断道路構想

推進会議要望(長野県)

27~28日 朝日滑川間国道・バイパス

建設促進期成同盟会要望

(新潟県・東京都)

29日 総務文教消防委員会協議会

定例議員協議会

12月

4~18日 12月定例会

18日 議会報編集委員会

25日 産業厚生建設委員会協議会

6年1月

10日 議会運営委員会協議会

定例議員協議会

議会報編集委員会

16日 議会報編集委員会



一般質問

12月定例会では13名の議員が質問を行い、49項目について市当局の見解を求めました。

質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、3月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です)のご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されており、ご利用ください。 ※質問者の最後のその他の質問は、掲載外の質問事項です。

代表質問



- 1 11月の市長定例記者会見の内容について
- 2 市長提案理由説明の内容について
- 3 新型コロナウイルス感染症対策について
- 4 常任委員会からの政策提案について

(会派 志真会) 竹原 正人 議員



**Q** 令和6年度の予算編成方針について、『すべらない』新規重点枠として、(1)優しい社会の実現枠、(2)DX推進枠、(3)GX推進枠、(4)まちづくり枠の重点枠を設けたが、注釈には「要求上限なし」となっていた。限られた予算の中で、どう具現化していくのか。

**A** 水野市長 本市のさらなる発展のため、4つの区分において、各事業の担当課から思い切った提案を出してもらったために要求の上限を設けずに設定した。ただし、出してもらっても、全てを実現化できるとは思っていない。限りある財源の中で提案のあった事業の精査を行った上で、その効果が高いと思われるものを予算化していく。

**Q** 令和6年度予算について、持続可能な財政基盤の確立について具体的な内容を伺う。

**A** 水野市長 歳入面においては、国、県の補助制度の活用を努め、歳出面においては、扶助費等の義務的経費を確保しながら一般行政経費の削減と新規重点枠への投資を行って、めり張りのある予算編成で各種政策の実現に向けて取り組む。

**Q** 市内小中学校における新型コロナウイルス感染症対策として網戸の整備が予算化されている。全教室を網羅した事業なのか。

**A** 上田教育委員会事務局長 全教室への網戸の整備はできない状況である。今後、網戸のほか各学校が感染症対策で必要とするものがあれば、市単独予算においても、整備、対応していく。

**Q** 常任委員会からの政策提案で、教育分野でのDX環境の整備、更新、市独自の支援策をどのように捉え、今後進めていくのか。

**A** 上田教育長 学習支援ツールとしてロイロノートを導入して今年度で3年目になる。特に使いにくさも聞かれないことから、引き続き活用していく。また、今年度導入した安全メールは、教員の働き方改革の推進につながっている。さらに、現在、教職員の校務をサポートするシステムの改修や新しいアプリケーションの導入についても検討を進めている。今後子どもたちの学習や教職員の校務支援の両面から、DX環境の整備更新支援を進めていく。

代表質問



4 3 2 1

令和6年度予算編成について  
新規採用職員について  
市営墓地について  
観光政策について

(会派「会派自民」) 岩城 晶 巳 議員



Q 決算特別委員会からの指摘事項や、各常任委員会からの提案を来年度予算にどう生かすのか。

A 水野市長 今回各委員会からいただいたDXの推進や、デマンド型タクシーに関する提案について、新年度予算の編成の中で検討していく。

Q 本市の実質公債比率は県内で最も低く、それだけにとらわれて思い切った政策を打ち出されていないのではないか。

A 水野市長 住民との対話を重ねて、まちのデザイン・ビジョンをしっかりと描きながら、若者、女性、障がい者、高齢者などの多様な方々を尊重するダイバーシティ・インクルージョンの下、「強く優しく輝く滑川」の実現に向けた思い切った施策を積極的に進める。

Q 市の職員採用について、重点を置くポイントは何か。

A 柿沢副市長 筆記試験より、面接試験を重視している。一点目は、公務に対する強い関心と全体の奉仕者として、市民第一の思いで働く熱意を有する人材。二点目は、向上心や協調性があり、幅広い視点を持った時代の変化に柔軟に対応できる人材。三点目は、地方創生に取り組むため、地域の魅力や課題を理解し、地域のつながりを大切にする人材の確保が重要と考えている。

Q 管理する子どもや親族が地元になく、放置されたままの無縁墓が増えている。市営墓地で放置されたままの墓地はあるのか。

A 岩城建設部長 無縁墳墓の発生については調査を行っていないが、公園内の墳墓や区画の管理状況からすると、無縁墳墓の発生はないものと判断している。

Q 県内の観光客数は西高東低と数字が出ており、新川の3市2町が連携してお客さん呼び込むことが大事である。また、これからは外国人観光客の誘致が大切だと思うが、見解を伺う。

A 黒川産業民生部長 新川地域の多言語パンフレットを制作し、令和5年9月に台湾の旅行会社へ送客について営業を行っており、今年度中にもう一度行う予定である。今後、中国の旅行会社向けの情報発信、個人旅行者向けのSNS発信を実施する。

その他の質問  
・県内の小規模警察署再編について

一般質問



4 3 2 1

児童・生徒の携行品に係る配慮について  
ほたるいか海上観光について  
道路除雪の今後について  
消防団員の備品更新について

安達 真 隆 議員



Q 時代の進化とともにタブレットも出てきている。持ち物もたくさん増えている中で実際の重さは変えられない。現場の意見をもう少し吸い上げていけないか。

A 椎名教育総務課長 各学校では、担任等から児童・生徒に呼びかけ教科書など教室に一人一人が置いていく荷物をまとめることができているケースを置くなど実態に応じた工夫を行っている。

Q 朝日町では「らくらく登校」を本格実施しているが、滑川市も本格実施に向けて動けないか。

A 水野市長 参考にながら今後考えていきたい。

Q 令和5年、令和6年の乗船料の差額について問う。

A 永田水産観光課長 令和5年大人が5千円、子どもが3千円、令和6年大人が8千円、子どもが4千円で、差額は大人が3千円、子どもが千円で、人件費や燃料費等が増加していることや、船の維持管理費も考慮して設定したもので、平成27年に値上げして以来のこと、9年間据え置いたということも踏まえて実施するものである。

Q 今年から一休体制で決定しているが一日の乗船回数を増やすなどの計画はあるか。

A 黒川産業民生部長 時間が限られるなどの課題があることから、乗船回数を増やすなどの計画は現在のところ予定していない。

Q 大型特殊、車両系建設機械免許取得に対して滑川市で補助金制度を計画していくべきでないか。

A 荒保建設課長 本市としてオペレーターの高齢化が進んでいる中で、今後も継続して市道除雪を実施するため新規オペレーターの育成が課題であると認識している。

Q 県や他市、町の取組を参考にして、また除雪業者の意見も聞きながら、どのような支援ができるか考えていきたい。

Q 消防団員の長靴、アポロキャップは20年間一度も更新されていないが更新の考えはないか。

A 前野消防署長 消防団員の長靴やアポロキャップについては、制服や活動服と同様損耗補充としている。長靴については災害現場での安全管理上の観点から、より安全性の高いものへの更新も視野に検討していきたい。

一般質問



1 滑川市の農業に従事者数の変遷について問う。  
2 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）について  
3 SDGs 未来都市について

吉森 真人 議員



滑川市の農業従事者数の変遷について問う。

石井農林課長 農林業センサスの農業経営体数で比較すると、2005年で1229経営体、2020年では412経営体と15年間で約3分の1に減少している。

9月定例会にて「富山農林振興センターやJALプスなど関係機関と連携しながら、農業の担い手の確保に努めているところである」と答弁されたが具体的には。

石井農林課長 富山県農業経営・就農サポートセンターや富山農林振興センター等が実施している就農相談、富山県農林水産公社が実施しているとやま農業未来カレッジ及び就農支援事業と情報共有しながら、若手農業者の掘り起こしや経営継承、新規就農者の支援に取り組んでいる。また、JALプス管内の担い手育成総合支援協議会と富山農林振興センターと連携し、県内の就農希望者と経営体をつなぐマッチングバスツアーや経営継承セミナーを開催するなどしており、令和5年度のバスツアーでは、1名が市内経営体に就農した。

滑川市として今後農業はどうあるべきと考えているのか。

石井農林課長 次代を担う若い世代に魅力を感じてもらえる産業とするため、持続可能な農業の確立が必要である。関係機関と連携し、スマート農業の推進、将来の在り方等を地域で話し合い、地域計画の策定、また、有機農業をはじめとする減農薬、減肥料に対する支援に取り組む。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例は、支援員等に理解してもらう必要があるのか。

牧田子ども課長 支援員には、ご理解いただいているものと考えているが、新年度に向け基準について改めて共通理解を図るため各クラブへ周知していきたい。

次回がSDGs 未来都市選定の最終年となっているが、本市は今回も応募するのか。また、するのであれば進捗及び内容を問う。

石川総務部長 もう一度提案書の見直しを行い応募する方向で調整している。現時点では、まだ示せる状態ではないが、見直し中の総合計画とも連動させつつ、提案内容が固まり次第示していきたい。特にデジタル等の分野や地域支援を取り入れた形での提案となるよう修正している。

滑川市として今後農業はどうあるべきと考えているのか。

一般質問



地区計画について

大浦 豊 貴 議員



モデル的なまちづくりを推進するため、計画的な都市基盤施設の整備と秩序ある市街化の誘導や快適で魅力あるまちづくりの施策として、平成6年に滑川駅南地区地区計画が決定された。これまで地域の特性に応じた建設・開発の誘導・住機能の向上に向けた整備が進められてきたところであるが、計画策定から約30年が経過したことに伴う社会状況や価値、地域課題の変化について見解を問う。

岩城建設部長 地区計画については、都市計画法で定められた制度で、地区住民の意見を反映させて定める地区単位でつくる独自のまちづくりのルールとなるものである。本市では、土地区画整理事業を実施した滑川駅南地区を対象とした地区計画が都市計画決定されている。当該計画では、最低限度200平方メートルという建設物の敷地面積や建築物の壁面の位置、垣または柵の構造制限などが整備計画として定められ、地区の良好な住環境や景観形成に活用されてきた。課題としては、都市計画決定後30年が経過し、核家族化や少子化が進展し世帯人数が少なくな

ってきたことで、コンパクトな敷地面積や建築面積が好まれる傾向であり、地区整備計画に定めている最低敷地面積が過大であることが一因となり転入が鈍く、地域活動の維持に支障が生じる恐れがあると認識している。地区内に定住が進まないことは地区計画だけが要因ではなく、公共、交通機関や病院、商業施設など都市機能施設へのアクセスが良く、道路やスポーツ・健康の森公園などの都市施設が整備されていることにより郊外に比べ土地価格が高いことや小中学校の校区等、様々な要因があると考えている。面的整備の効果を持て維持できるような地区計画・地域課題の調査や課題解決の方法について検討していく。

この地区計画についての見直しや各地区において、こういった地区計画が策定された場合、誘導面や住環境の整備はよくなるのではないかと。それが各地区において必要であるかも含め検討いただきたいと考えるがどうか。

水野市長 検討していきたいと考えている。

滑川市として今後農業はどうあるべきと考えているのか。

一般質問



- 1 健康寿命延伸について
- 2 10年後を見据えた教育について
- 3 持続可能な財政について

青山 幸 生 議員



**Q** LINE版暮らしの保健室の設置の経緯と進捗はどうか。

**A** 川口市市民健康センター所長 市民が気軽に相談できる窓口として、毎週火曜日と土曜日にショッピングセンターエリア内に暮らしの保健室を開設している。現地に來ることができない方や対面での相談に抵抗がある方もいることから、12月1日から市LINE公式アカウントを窓口として相談の受付を開始したところだ。

**Q** 特定健康診査（40歳から74歳）の受診率は平成30年から令和4年までの5年平均で約48%になっている。市の見解はどうか。

**A** 川口市市民健康センター所長 検診の受診率は、52%前後で推移してきたが、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の蔓延の影響により、45%弱に低下した。毎年受診していた年代層が75歳を超えてしまったこと、若年層に未受診者が多いことが影響していると考えられる。今後も国が示している60%の目標に到達するよう対策を講じていく。

**Q** Society 50時代の到来に向けて、どのような学校教育を進

めていくのか。

**A** 上田教育長 平成29年に改定された学習指導要領では、子どもたちに必要な資質能力として、実際に社会や生活で生きて働く知識及び技能、未知の状況にも対応できる思考力・表現力・判断力、学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性、この3つが柱となる。読解力や論理的思考力を重視し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させていくことが大切であると考えられる。

**Q** 提案理由では令和6年度予算の仮試算において、市税の大幅な増加は期待できないとしているが、その詳細は。

**A** 長崎財政課長 市税の歳入見込みについては、現在精査中であるが固定資産税において、新築家屋や企業の新設投資による一定の増加は見込まれるものの、個人市民税及び法人市民税においては、物価上昇や為替相場の変動など、経済の先行きや住民税の減税の動きが不透明なことなどにより、大幅な増加は見込めないものとしている。

一般質問



- 1 教育について
- 2 交通安全について

開田 晃 江 議員



**Q** 滑川市の児童・生徒の人間力向上のための教育委員会の基本的な考え方を伺う。

**A** 上田教育長 生きる力で育みたい3つの柱は、実際の社会や生活で生きて働く知識や技能、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性、これらを育むため、何をどのように学ぶかを大切にしている。子どもたちがSOSを発信できる環境づくりは整っているか。

**Q** た先生方のSOSも受けているか。

**A** 椎名教育総務課長 全ての学校で面談や心のアンケートを実施している。学校で、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによるSOSの出し方講座を実施しており、あなたは一人ではないというメッセージを伝えていく。また教職員も悩むことは多いので、一人で悩まないよう、抱え込まないよう、サポートを受けるようにしている。

**Q** 現在、タブレット学習やICT教育が中心になっていないと感じる。心の育ちや想像力・発想力・トキク力など、社会に役立つ人育ての視点を重視するべきと考えますが、

どうか。

**A** 椎名教育総務課長 小中学校ともに、心の成長のための学習や豊かな体験活動をたくさん取り入れている。心を育てる学びは引き続き大切にしていきたい。

**Q** 市制70周年を新たな出発点として、子どもたちの健全な成長を願うとともに、自ら考え、行動できる指針として、子ども憲章を検討してはどうか。

**A** 上田教育委員会事務局長 今後、未来を担う子どもたちの指針となるような条例などの制定を視野に検討している。

**A** 水野市長 子ども、女性の総合的な条例の素案をつくっており、制定に向けて準備している。

**Q** 中学生・高校生、特に自転車に反射板たすきを配布する新たな交通安全の取組はどうか。

**A** 黒川産業民生部長 反射材の活用が効果的であることは理解している。たすき型の反射材となると、たすきが垂れて危ないとも考えられるため、今後、自転車で見やすい反射材をPRしていきたい。

・公園について  
・子ども食堂について

一般質問



水橋 真 治 議員

- 1 学校教育の充実について
- 2 子育ての充実について
- 3 多文化共生のまちづくりについて



**Q** デジタル化による教師の業務改善も教育DXの大事な要点と考える。教師が学期末や年度末に使用する諸帳簿のデジタル化は現在どのように進んでいるのか。

**A** 椎名教育総務課長 県との連携を考えていたが難しいので、市としては現在あるものを改善していきたい。早い時期に進めていきたいと考えている。

**Q** 各放課後児童クラブによって、開設の時間に違いがあるが、今後それらの差の解消に取り組む予定はあるのか。

**A** 牧田子ども課長 各クラブの実情により現在対応しているが、ニーズに合った開設時間となるようクラブ等と引き続き協議していきたいと考えている。

**Q** 市民健康センターのトイレが使にくいのではないかと。小さなお子さんから高齢の方まで幅広い年齢層の方が使うので、全面改修が必要ではないか。

**A** 川口市市民健康センター所長 時代に合わないものとなってきている認識はある。今後利用者の声等も聞きながらトイレの改修について検討していきたいと考えている。

**Q** 本市も外国人住民の方が増えている。他国の文化や価値観を理解し協調して持続可能な地域づくりを進めることが大切である。外国人住民に、ごみ出し、分別のルールをどのように伝えているのか。

**A** 相沢生活環境課長 転入手続きの際、外国語版のチラシを配布しルールの徹底に努めている。ルールの理解や自国との文化の違いに苦労や戸惑いを感じる方々も少なくないと認識している。外国人住民の不安の解消とともに、ルールの周知に努めていきたいと考えている。

**Q** 外国人住民の方が安心して情報提供を受けたり、円滑にルールを理解したりするために、行政、企業、町内会、管理団体とどのように取り組んでいけばよいか。

**A** 高森企画政策課長 市ホームページに多言語機能を導入している。多文化共生への意識づくりや災害時の外国人支援をテーマにセミナーを開催しているほか、ボランティアをグループに対し、自立支援を目的に補助金を交付している。関係課と連携し今後も対応を実施していきたいと考えている。

**Q** ほたるいか海上観光の料金を5千円から8千円まで大幅に値上げすると、60%アップになるが、観光客は納得するのか。

**A** 黒川産業民生部長 値上げの要因として、人件費、燃料費、船の維持管理費等と併せ、前回の値上げから9年間料金を据え置いてきたことなどを考慮して、令和6年から大人8千円、子ども4千円とした。

**A** 水野市長 昨今の人件費並びに物価高騰、資材、燃料、それに伴って船の維持管理費も、中古の船を購入したので修繕費等も勘案して60%アップになった。8千円に見合った観光になるように、全国唯一の観光にしていければと思っている。

**Q** ほたるいかミュージアムで今年度からVR映像の体験会が行われた。来シーズンもVR映像を多くの人に体験してもらおう方策は考えているのか。

**A** 永田水産観光課長 VRホテルイカについては、令和5年4月に設置して、11月末現在で780名程度の方に利用いただいた。現在、VRホテルイカの機能を紹介する新

**Q** 子どもサミットが議会議場で開催され、市内ごみゼロ作戦などごみをなんとかなくしたい思いを議論されたが当局の見解を伺う。

**A** 丸山生涯学習・スポーツ課長 児童生徒からは、どうしたらごみが減り、滑川の輝く海と豊かな自然につながるか等、アイデアや意見が出された。他校の取組で可能なものは、自分の学校での取組にも生かしてもらいたい。

**Q** ダイビングスポットの高塚海岸で楽しくダイビングされた後、気持ちよく帰ってもらうためにシャワー室、トイレ、休憩室等を整備すべきと思うが、見解を伺う。

**A** 永田水産観光課長 ダイビングスポットに訪れる方々のトイレ、更衣室、休憩室等の整備については、旧滑川蒲鉾の利用も含め検討を行っているが、未だ整備に至っていない。今後、漁港一帯の活用方法の中で、検討していく。

その他の質問

・ 公共施設のLED化について

一般質問



中川 勲 議員

- 1 観光施策について
- 2 豊かな自然と共生するまちづくりについて
- 3 ダイビングスポットの利便性の向上について





一般質問



- 1 「互産互生」の取組について
- 2 ふるさと米づくり体験事業について
- 3 農業の振興について

原 明 議員



**Q** 姉妹都市の豊頃町のまちなか活性化拠点施設「ココロコテラス」では、「互産互生プロジェクト」が推進されていたが、残念ながら滑川市の物産品が販売されていない。滑川市の物産品を販売してはどうか。

**A** 黒川産業民生部長 「互産互生」は互いに生産したものを交換し互いに消費し、互いにないものを補い合い、人と人との交流、交換を通して、互いの生活を豊かにしようとする取組であると理解している。滑川市の物産品の販売推進には、豊頃町との意見交換や情報収集等を行い、今後調査研究していきたいと考えている。

**Q** 他の姉妹都市とも、「互産互生」の取組を推進できないか伺う。

**A** 黒川産業民生部長 那須塩原市と協議を重ねており、まちなか交流センター「くるる」で滑川市の物産品を、ほたるいかミュージアム内のふるさとセンターで那須塩原市の物産品を販売できないか調整中である。

**Q** 小諸市との協議はいつ頃から進めていくのか。

**A** 水野市長 副市長、観光課長も

含めて4名程で小諸に訪問し、意見交換して今後進めていく。  
**Q** ふるさと米づくり体験事業の成果と課題について伺う。

**A** 椎名教育総務課長 米だけでなく食そのものに対しての関心が高まり、あわせて農業従事者への感謝の気持ちも感じてもらえたと考えている。田んぼが中山間地域であったため、田植した稲の様子を気軽に観察できなかったことなどが課題である。

**Q** 猛暑での高温障害により農家の所得減少で経営への悪影響が心配されている。市単独の支援と耕作者への細やかな情報が必要と考えるが、見解を伺う。

**A** 石井農林課長 今月中旬に水田農業・物価価格高騰対策補助金の支援を行うほか、県の農業用電気料金高騰緊急支援事業において、大規模生産者に電気料金の負担額の増加分に対する支援として補正予算を提出しており、中小規模生産者にも市単独で支援を予定しており、そのほかの支援については追加で提案する。  
その他の質問

・鳥獣被害について

一般質問



- 1 滑川市総合体育センターにおける障がい者スポーツへの対応について
- 2 市内小中学校における熱中症対策について

谷崎潤一 議員



**Q** 総合体育センターでは障がい者の受け入れ態勢は整っているか。

**A** 丸山生涯学習・スポーツ課長 正面入り口及び下駄箱前にスロープを設置しているほか、バリアフリートイレも設置しており、障がいの有無に関わらずスポーツができる環境である。競技によっては、設備の準備が必要となる場合もあることから、事前に連絡をもらっている。盲導犬については、特に指定はないので連れてきても大丈夫であり、トレーニングルームを同伴者が付き添って利用したことはある。

**Q** 車椅子を使ったスポーツ全般の練習などの使用は可能か。

**A** 丸山生涯学習・スポーツ課長 車椅子バスケットボール競技のみ利用している。車椅子を使ったほかの競技においても、利用目的や設備の準備等を確認し対応可能としているところである。練習の場合のみを考えているが、大会等はどういうにしたらよいか、その都度協議していきたい。

**Q** 障がい者スポーツに対して施設使用や利用料など手厚い対応をしている自治体も複数存在するが、

現在、滑川市における対応はどうなっているのか。

**A** 上田教育委員会事務局長 県内の体育施設においては、障がい者手帳などの提示により、占用以外の利用料が無料または割引などの対応を富山県や一部の市町村で行っている。当市の総合体育センターにおいては障がい者スポーツ活動への減免は実施していないが、隣接するサン・アビリティーズ滑川では、市内に住所を有する障がい者の方は無料、市外の方は利用料を2分の1に減免している。

**Q** 滑川市小中学校における熱中症対策について、来年度に向けて、予算を含めた議論をしているのか。

**A** 椎名教育総務課長 来年度は小中学校運動会の時期の見直しを検討しているほか、各学校の実情に応じた工夫しながら対策を行うなどしている。子供たちが学校で気持ちよく学習・学校生活を送るために必要なものを購入する予算を考えており、暑さ対策に必要なものも考えていきたい。

その他の質問  
・滑川市における地域おこし協力隊について

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネルで、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、3月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。また、録画放送はYouTubeでも配信しております。

### 一般質問



- 1 強く、優しく、輝く滑川について
- 2 みのわ温泉について
- 3 中滑川複合施設メリカについて
- 4 姉妹都市交流について



高川 正 樹 議員

**Q** 優しさについての思いを改めて問う。

**A** 水野市長 「優しさ」については、子育て世帯をはじめ、若者や高齢者、障がい者、性差を問わず、市民みんなが暮らしやすいまちにする「みんなに優しく」と、DXの推進により、市民が利用しやすい市役所にする「優しい市役所」の2本を柱としている。いずれの施策にも共通しているのは、多様な市民との対話を通し市民ニーズを共有することで、市に関わる全ての人が健康で生き生きと暮らせる社会の実現に取り組むことであり、それこそが「優しさ」であると考えている。

**Q** 東部山麓道路工事が計画的に実施される中、みのわ温泉を含めた周辺整備について本格的に考える必要があるのではないか。

**A** 上田教育委員会事務局長 早月川 左岸の東部山麓道路工事完成後は、上市町馬場島、剣岳への主動線として、登山などを目的とした観光客の往来が増えることが見込まれる。みのわ温泉を含めた周辺整備については、これまでも市内の関係団体などからも提案や要望を受

けている。今後、全庁的な視点で協議を進める必要があると考えており、官民連携なども視野に入れ検討を進めたい。

**Q** メリカに隣接した踏切の一方通行の標識の見落としで逆走している車が多いと聞く。早急な対策が必要ではないか。

**A** 相沢生活環境課長 交通標識を見落とさないことが基本ではあるが、踏切への進入路、道幅が狭いといった当該箇所の道路事情から万一標識を見落とした場合の危険性も考慮し、現在、交通標識を補完するものとして踏切に掲示している進入禁止看板を、少し手前に移動して、より大きなものに置き換えたいと考えている。

**Q** 姉妹都市との職員同士の人事交流はできないか。

**A** 高倉総務課長 新たな魅力の発見、姉妹都市との相互理解、連携体制の緊密化及び職員の広い視野の養成など、様々な効果が期待できるものと考えている。市長自ら相互派遣について提案を行っており、双方の担当課間でオンライン会議を開催しており、実現に向けた協議を重ねる。

### 一般質問



- 1 介護保険における「住宅改修費等」の支払い対応について
- 2 学校体育館へのエアコン設置について
- 3 带状疱疹ワクチン接種について



古沢 利之 議員

**Q** 介護保険では、要介護認定を受けた方の住宅改修に、20万円を限度に費用の7割から9割を給付できると支払った後、払戻しを受ける「償還払い」だが、これが原則か。

**A** 小川医療保健課長 介護保険法における住宅改修費に対する支給は原則「償還払い」となっている。全国では、本人が自己負担分だけを支払い、介護保険からの給付分は業者に払われる「受領委任払い」としているところがある。

**Q** 小川医療保健課長 県内9保険者のうち「受領委任払い」を導入しているのは2保険者である。

**Q** 魚津市は住宅改修で平成30年から「受領委任払い」を導入している。総務省中部管区行政評価局のレポートでは、全国で64・2%の保険者が「受領委任払い」を導入している。確認したか。

**A** 石川健康福祉部長 指摘のレポートを確認したが、全国で多くの保険者が導入していた。レポートを参考に制度の整備に向け検討していきたい。

**Q** 学校体育館のエアコン設置については、多額の費用がかかるという答弁だが、可搬型のスポットクーラーなどは考えられないか。

**A** 椎名教育総務課長 冷風機などスポットクーラーの設置等も含め効果的な猛暑対策を学校とも協議、検討し対応したい。

**Q** 文部科学省は令和7年度までに体育館に空調を設置する場合、補助を2分の1に引き上げた。断熱工事も含めている。どう考えるか。

**A** 椎名教育総務課長 工事費、ランニングコストも考えなければならぬ。交付金の活用やスポットクーラーの設置も含め研究したい。

**Q** 带状疱疹は、50代から発症率が増加し80代までに3人に1人が発症すると言われている。ワクチンが有効とされており、接種の補助を検討し接種を促してはどうか。

**A** 石川健康福祉部長 現在、国で带状疱疹ワクチンの定期予防接種の議論が行われており、その動向や他市町村の状況も参考に検討したい。

その他の質問  
・ 本年の水稲について

## 政策提案書を提出

令和5年12月1日に尾崎議長、中川副議長、竹原総務文教消防委員長、大浦産業厚生建設委員長から水野市長に政策提案書を提出しました。

各常任委員会の行政視察を元にして作成した政策提案書について、各委員長から説明がありました。

### 総務文教消防委員会

◆令和5年7月3日～4日

石川県能美市・福井県大野市視察

#### ◎提案事項

滑川市は令和5年4月にDX推進課を設置し、「滑川市DX推進計画」に基づき施策を推進しているところですが、今回の行政視察を踏まえて本市におけるDXの推進がより良いかたちで実現されるよう、また全市民がDXの良さを実感することができ、DXの推進につながるよう提案

します。

・滑川市におけるDXの推進が、より市民目線のものとなるよう「市民サービスの向上」、「行政事務の作業効率の向上」、「教育分野における支援の向上」について、重点的に取り組むべき目標の3つの柱として定めること。

・中でも特に教育分野において、学校におけるDX環境の整備・更新の格差や、教員の習熟度や指導力不足による格差解消の支援に取り組むこと。

・市単独予算で、現在使用しているロイロノートなどの授業支援ツール



に替わるより良いアプリの導入や、指定校制度など教育現場の機運醸成にもつながる市独自の支援策を実施し、研修の充実を図ること。

### 産業厚生建設委員会

◆令和5年7月3日

滋賀県米原市視察

#### ◎提案事項

滑川市では、令和5年度に今後の人口減少やさらなる高齢化を見据えつつ、社会情勢の変化や市民の多様なニーズに対応するため、地域公共交通計画を策定しましたが、公共交通の諸問題の中でも特に課題と思われるコミュニティバス事業について、以下の取り組みを検討するよう提案します。

・デマンド型タクシーの実証実験  
コミュニティバス「のる my car」の利用者減の影響や、サービス向上を目的としたデマンド型タ

クシーの導入については、以前から複数の議員により本会議等で質問されてきた経緯があります。

当市の人口や面積などの諸条件において、有効なサービスとなり得るかどうかが、期間を定めて実証実験することが可能かどうかの具体的な検討をお願いします。

その結果、既存のコミュニティバスを補完し得るサービスになるのかどうかを判断し、併せて、コミュニティバスの路線やダイヤ、車体の大きさ（最大乗車人数）等についても、より効率的な運用になるような対応をお願いします。



**第32回子どもサミットが  
議場で開催されました**

12月1日(金)に第32回子どもサミットが議場で開催されました。

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症が5類相当へ移行しましたが、出席する来賓や見学者の人数を前年と同様に制限し、その分、広く多くの方が視聴できるよう、ケーブルテレビの放送設備の整った議場を利用して開催されています。また子どもたちに議会の雰囲気を感じてもらおうことができる貴重な機会になっています。

子どもサミットに参加した市内小中学校の代表者19名は、事前研修会や水産研究所、アクアポケット及び製塩施設での体験学習会を通して、夏休みから子どもサミットに向けた話し合いや準備を進めてきました。

その中で、今回のテーマを「つくろうみんなが元気で輝くまち滑川く未来につなげ!!輝く海と豊かな自然」に決定しました。

そしてサミット当日、参加者は真剣な顔つきで議場に集まりました。

会議は、滑川中学校2年神田龍太郎さんの進行のもと、東部小学校6年畠山琳さんの開会の言葉で始まり、その後水野市長、尾崎議長からのあいさつがありました。



尾崎議長あいさつ

参加者の自己紹介の後、滑川中学校2年秋村音さんに司会者が交代し、「滑川の海洋深層水や海洋深層水からできた塩をどのように生かしていくか」、「各学校で行っている活動が、どの

ように滑川の輝く海と豊かな自然につなげることができるか」、「将来どのような滑川市になっほしいか」、「自分たちにできることや大人のみなさんにお願したいこととは何か」について積極的に挙手をして各学校での活動や自分の考えを発表したり、意見交換を行いました。



子どもサミットの様子

最後に水野市長から今回の子どもサミットについての講評があり、早月中学校2年地田彩星さんの閉会の言葉で会議は幕を閉じました。



水野市長講評

**サミットで出された主な意見**

- ・滑川の海洋深層水や海洋深層水からできた塩の魅力を多くの人に伝えていくことが大切。
- ・滑川の輝く海と豊かな自然を守るため、ゴミのポイ捨てをなくすための呼びかけやポスターの掲示、ボランティア活動をすればよい。

## 意見書提出要請・要望書

件名及び提出者

処理結果

### ①意見書提出要請（1件）

- 健康保険証の存続を政府に求める意見書の提出を求める陳情書 ……………（議会運営委員会不一致）  
全議員へ参考配布  
富山医療生活協同組合滑川支部 支部長 柴田 隆光（議員提出議案第5号へ）

### ②要望書（3件）

- 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書等の採択について …………… 全議員へ参考配布  
全国市議会議長会 会長 坊 恭寿
- 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情  
…………… 全議員へ参考配布  
行橋市議会議員 小坪 慎也
- 令和6年度滑川市行政施策に対する要望について …………… 全議員へ参考配布  
滑川商工会議所 会頭 星名 照彦

3月定例会が下記の日程で開催されます。  
9日は土曜議会です。ぜひお立ち寄り下さい。

下記のQRコードから  
YouTube滑川市議会  
チャンネルにアクセス  
できます。



日	時間	摘要
2月28日(水)	10時	会期の決定、提案理由説明、補足説明
2月29日(木)	10時	補足説明
3月8日(金)	10時	代表、一般質問
9日(土)	10時	一般質問（土曜議会）
11日(月)～13日(水)	10時	予算特別委員会
14日(木)	13時30分	総務文教消防委員会
15日(金)	13時30分	産業厚生建設委員会
19日(火)	11時	委員長報告、質疑、討論、採決

## 賛否一覧表

議案	志 真 会						会 派 自 民				無 会 派				
	議員名	吉森真人	安達真隆	谷崎潤一	大浦豊貴	青山幸生	竹原正人	高川正樹	原 明	岩城晶巳	中川 勲	水橋真治	尾崎照雄	古沢利之	開田晃江
議案第58号から 議案第81号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○
議案第82号		○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	/	○	○	○
議案第83号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
議案第84号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○
議員提出議案第5号		●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	/	○	●	●

※賛成者は○、反対者は●、欠席者は欠としています。

※議長は採決に関わりません。また、議案第82号は、議員本人に関わる案件のため、採決に加わず「/」としています。

## 議決結果

議案番号	議案内容等	委員会	採決結果
議案第58号	令和5年度滑川市一般会計補正予算(第5号)	総産	原案可決
議案第59号	令和5年度滑川市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	産	原案可決
議案第60号	令和5年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第61号	令和5年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	産	原案可決
議案第62号	令和5年度滑川市水道事業会計補正予算(第1号)	産	原案可決
議案第63号	令和5年度滑川市下水道事業会計補正予算(第2号)	産	原案可決
議案第64号	滑川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定について	総	原案可決
議案第65号	滑川市犯罪被害者等支援条例の制定について	産	原案可決
議案第66号	滑川市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第67号	市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第68号	滑川市の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第69号	滑川市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例並びに滑川市パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総	原案可決
議案第70号	滑川市海洋深層水分水施設条例等の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第71号	滑川市空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第72号	滑川市ほたるいか観光施設の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第73号	滑川市海洋深層水分水施設の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第74号	滑川市東福寺野自然公園の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第75号	滑川市営住宅等の指定管理者の指定について	産	原案可決
議案第76号	滑川市総合体育センターの指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第77号	滑川市みのわテニス村の指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第78号	滑川市スポーツ・健康の森公園の指定管理者の指定について	総	原案可決
議案第79号	令和5年度滑川市一般会計補正予算(第6号)	総産	原案可決
議案第80号	滑川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第81号	滑川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産	原案可決
議案第82号	滑川市監査委員の選任について	—	原案同意
議案第83号	滑川市公平委員会の委員の選任について	—	原案同意
議案第84号	滑川市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	—	原案同意
議員提出議案第5号	現行の健康保険証の存続を求める意見書	—	原案否決

委員会欄は、その案件が付託された委員会を表しています。記載のない場合は、委員会に付託されていません。

※委員会…総：総務文教消防委員会、産：産業厚生建設委員会



### 議会報編集委員会から

この度の能登半島地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。議会構成の変更に伴い、新しいメンバーで議会だよりを作成することとなりました。よろしくお願ひします。

電話 475-2120

#### 【議会報編集委員】

高川正樹委員長 吉森真人副委員長  
 谷崎潤一委員 青山幸生委員  
 古沢利之委員 開田晃江委員  
 中川 勲委員